

2016年度 第4回 理事会報告

開催日時：2016年9月9日（金）14：30～16：30

開催場所：佛教大学紫野キャンパス1号館1階中会議室（京都市北区紫野北花ノ坊町96）

I. 会長挨拶

岩崎会長より、挨拶および佛教大学への謝辞があった。

II. 理事会開会宣言（欠席理事の確認）

総務担当岩間理事より、岩崎晋也會長が議長となり、出席理事を確認し、「定款第43条」に規定されている要件を充足したので「2016年度第4回理事会」を開催するとの宣言があった。なお、定款第47条に則り、岩崎晋也會長、市川一宏監事、小林良二監事を議事録署名人として選出した。

III. 審議事項

審議に入る前に、翌日から開催される第64回秋季大会の準備状況や注意事項について、佛教大学の岡村正幸先生、岡崎祐司先生より報告および説明があった。

第1号議案 入会審査

総務担当岩間理事より回覧資料に基づき説明があった。審議の結果、23名全員の2016年度入会が満場一致で承認された。

第2号議案 2017年度契約更新について

総務担当岩間理事より、株式会社国際文献社との契約を次年度も更新することについて、審議および承認依頼があった。審議の結果、(株)国際文献社との契約更新が満場一致で承認された。

第3号議案 学会資料のアーカイブ化推進委員会について

総務担当岩間理事より、過去の基礎資料の散逸を防ぐため学会資料のアーカイブ化を図るべく、委員会の設置に向けた準備委員会の立ち上げについて、審議および承認依頼があった。審議の結果、準備委員会の立ち上げ、および今後のスケジュールについて承認された。

第4号議案 一般社団法人日本社会福祉学会謝金支払い内規について

総務担当岩間理事より、配布資料に基づき説明があり、翻訳者・通訳者の労に公正に報いるため、謝金に明確化された基準を設けることが提案され、満場一致で承認された。

第5号議案 その他

- ・一般社団法人日本社会福祉学会ロゴマーク使用内規（案）について

昨年度制定されたロゴマークの使用内規について、広報担当小原理事より配布資料に基づき説明があり、使用申請が不要な範囲、使用不可の判断基準について広報委員会で再検討し、12月の理事会で改めて審議を行うこととなった。

IV. 報告事項

1. 全国大会運営委員会からの報告（第 64 回秋季大会、第 65 回秋季大会、第 13 回フォーラム）

研究担当原田理事より配布資料に基づき、第 64 回秋季大会会期中のスケジュール等の説明があった。また、第 65 回秋季大会の開催要項を確認した。

フォーラム担当倉田理事および中国四国地域ブロック担当杉山理事より、第 13 回フォーラムについて配布資料に基づき報告があった。

2. 大会のあり方検討委員会からの報告

研究担当原田理事より、近年、大会への参加者が減少傾向にあることから、大会参加者を対象に、大会の水準向上を目的としたアンケートを行うとの報告があった。今大会不参加の会員にも大会終了後にメールおよび WEB 上でアンケートを実施予定である。

3. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当坪理事より、今後、投稿論文に不備があったものは査読前リジェクトとする方針について報告があった。また、次年度からの査読システムの導入について、経費削減および労力軽減になるとの説明があった。

4. 国際学術交流促進委員会からの報告

国際学術交流促進担当黒木理事より、日中韓三ヶ国での学術交流覚書の締結に向けた協議を重ねているが、中国側から明確な回答が無いことから、今回も日韓のみでの覚書締結を継続するとの報告があった。

現在、日本から韓国社会福祉学会大会への自由研究発表に応募するには、共同研究者も含めて日本社会福祉学会会員であることが条件となっているが、共同研究促進のため、共同研究者として韓国社会福祉学会員が名を連ねることを容認できるよう、日韓両国で協議を行う予定である。

5. 広報委員会からの報告

広報担当小原理事より配布資料に基づき説明および報告があった。

社会的な問題に対する学会としてのメッセージを、学会ニュースを介して社会へ発信すべきではないか、との意見があった。

6. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査担当大島理事より配布資料に基づき説明および報告があった。

今年度の学会賞審査スケジュールと理事会日程が前後したため、定款第 45 条に基づき、学会賞授賞候補作の審議および承認を 2016 年 7 月 25 日に電子的に行った。監事からの異論は無く、理事全員から承認を得たため、今年度の学会賞授賞作が承認されたとの報告が改めてあった。

現行の「一般社団法人日本社会福祉学会学会賞事業要綱」の見直しを検討することとなった。

7. 研究倫理に関する検討委員会からの報告

研究倫理に関する検討委員会委員長岩間理事より、現行の「一般社団法人日本社会福祉学会研究倫理指針」を、一般的な事項とガイドラインとで分割する作業を行っているとの報告があった。時間をかけて議論を行い、2018年度定時社員総会にて上程するスケジュールを予定している。

8. 地域ブロックからの報告

- 北海道地域ブロック : 4月に総会を開催した。理事会を2回開催し、札幌を中心に、大学院生など若手の会員も理事として参加している。
- 東北地域ブロック : 2016年7月24日に第16回研究大会(福島いわき大会)を開催した。「復興支援とソーシャルワークの今後～福祉の地域づくりと支援の在り方」をテーマとし、シンポジウムや自由研究発表が行われた。
- 関東地域ブロック : 2017年3月11日に研究大会を明治学院大学にて開催予定である。
- 中部地域ブロック : 2016年11月19日に研究例会(高島進名誉会員追悼シンポジウム)を日本福祉大学にて開催予定である。
- 関西地域ブロック : 2017年3月11日に年度大会を関西学院大学にて開催予定である。12月開催の理事会で諸々の協議を行う予定である。
- 中国四国地域ブロック : 2016年7月2日に第48回山口大会を宇部フロンティア大学にて開催した。『中国・四国社会福祉研究』の原稿を募集中である。
- 九州地域ブロック : 2016年6月18日～19日に第57回研究大会および総会を長崎ウエスレヤン大学にて開催した。選挙を実施し、事務局の変更があった。

9. その他(後援依頼、地域ブロック会計、他)

・後援依頼

総務担当岩間理事より、後援依頼のあった1件について承諾したとの報告があった。

・登記変更

総務担当岩間理事より、登記変更手続きが完了したとの報告があった。

・関連団体からの報告

<日本社会福祉系学会連合>

金子理事より、12月17日開催の公開研究会についてチラシを作成し、ホームページ上で案内をしているとの報告があった。

<ソーシャルケアサービス従事者研究協議会>

岩崎会長より、ソーシャルワーク教育団体連絡協議会と日本社会福祉学会会長が副代表を担当することになったとの報告があった。また、「我が事・丸ごと地域共生社会」をめぐる緊急討論集会のチラシを確認した。

<社会政策関連学会協議会>

岩崎会長より、本学会員を日本社会福祉学会の推薦枠として推挙したとの報告があった。

<社会学系コンソーシアム>

特になし。

議長は、議事終了を告げ、16時30分に理事会を解散した。

以上